

2 在宅療養の実際～ケアマネジャーの立場から～

みずなし介護センターケアマネステーションまつかわ 管理者 千葉伸彦氏

ケアマネジャーの役割を分かり易く知って頂けるように実際に関わらせて頂いている事例を通して支援してきた内容をスライドを使い説明させて頂きました。

ケアマネジャーの支援・考え方についてスポーツのラグビーでよく使われる用語「トライ」と「One for all, All for one」をキーワードに引用、まずは、心身に不自由な思いを抱えている方の出来ること、何を困っているのか？を考察し、次に困り事を少しでも軽減できる方法をご本人・ご家族と一緒に模索しトライ（やってみる・試してみる）してみることを提案します。それからケアマネジャーは実際にサポートする事業所や支援者と調整を図り連携していきます。簡単に言うとご本人に必要と思われる最適なチーム創りをお手伝いさせて頂く専門職です。そして、ご自宅で安心して生活が続けられるよう継続して寄り添っていく職種であることを説明させて頂きました。



3 在宅療養で受けられるサービスの紹介 ～通所リハビリテーション～

介護老人保健施設リバーサイド春圃 理学療法士 小山健人氏

通所リハビリテーションは介護保険の給付対象となるサービスです。ご利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、通所リハビリテーションの施設に通い、食事や入浴などの日常生活上の支援や生活機能向上のためにリハビリなどを日帰り提供するサービスです。

デイサービスとの違いとしては、通所リハビリテーションには必ず職員として医師が配置されており、医師の指示に基づいて理学療法士や作業療法士によるリハビリを提供することができます。また、理学療法士や作業療法士が自宅へ訪問を行い、生活動作の確認、住宅環境のチェック等も行います。リバーサイド春圃の通所リハビリテーションでは、理学療法士等による個別リハビリの他に、マシンを使った運動や集団での体操、レクリエーション等を提供しています。このように通所リハビリテーションはリハビリを軸にした在宅サービスです。内容は施設によって異なる部分もありますので、実際に見学をしてから利用して頂けると良いと思います。

4 在宅療養で受けられるサービスの紹介 ～訪問リハビリテーション～

気仙沼訪問リハビリテーション 理学療法士 橋爪佳代氏

訪問リハビリテーションは、寝たきり予防や生活範囲を拡げる目的でリハビリテーションが必要であると医師から判断され、通院が困難な方が受けるサービスです。ご本人の症状や自宅の家屋環境、ご家族の介護状況などを考慮しながら、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がご自宅へ訪問し、実生活の場面で療養上必要なアプローチを行います。

サービス内容は、身体機能へのアプローチ、日常生活動作の練習、介護指導や援助、家庭支援、住環境の整備、自助具や福祉機器の活用・助言、自主練習プログラムの作成・指導、利用者様の役割作り、他施設や多職種との連携ほか、その方に必要なものを選択的に実施します。

気仙沼市のようにサービスの少ない地域において、我々専門職は市民へ向けた啓発活動が課題となり、サービスの需要と共有のバランスがとれるよう積極的に努め、超高齢化社会に打ち勝つ『気仙沼モデル』の早期実現が望まれます。

